

# 市民等意識調査の結果（速報）補足資料

6/29 第3回計画策定部会

# 市民等意識調査速報結果(単純集計・暫定値)について

回収状況(有効票確認前)

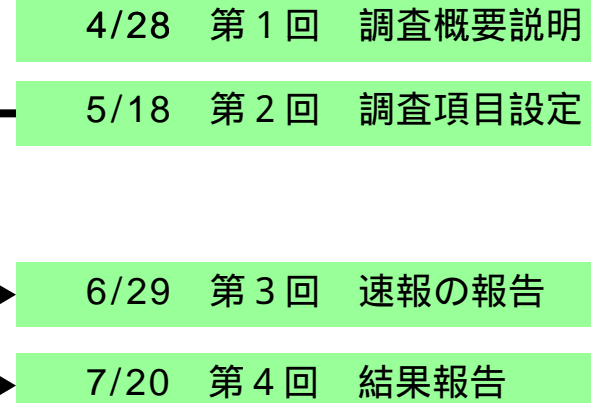
集計時点	累計回収内訳			回収率		
	市民	民生・ 児童委員	事業者	市民	民生・ 児童委員	事業者
発送件数(3,031件)	2,000	831	200			
6月14日 速報集計対象	710	472	107	35.5%	56.8%	53.5%
6月23日 最終集計対象	+130 840	+169 641	+18 125	42.0%	77.1%	62.5%
(H21前回調査 3,020件)	786/1976	611/848	127/196	39.8%	72.1%	64.8%

## 【調査スケジュール(6/24時点)】

スケジュール



## 【計画策定部会スケジュール】

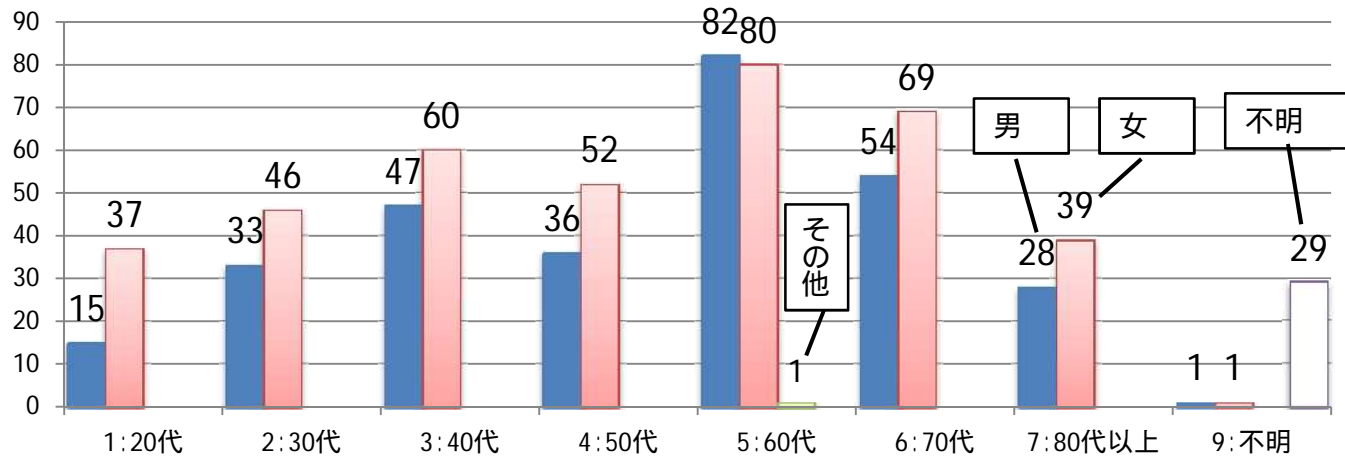


留意事項

- 6/14日までに回収できた調査票をもとに、速報値として集計を行っている。
- そのため、最終集計には、追加データとデータクリーニング(補正、データの振り分け等)を行うため、集計結果に変動が生じます。

# 市民等意識調査速報結果について(属性)

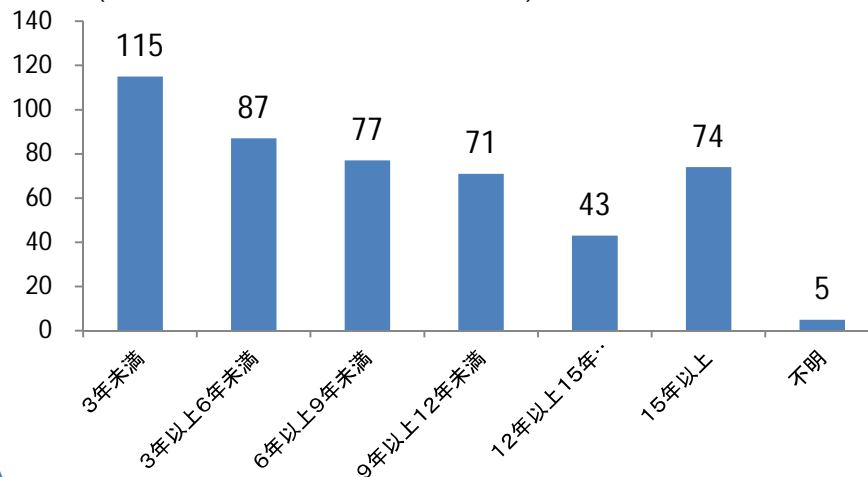
市民の属性 n=710 (年代・性別別)



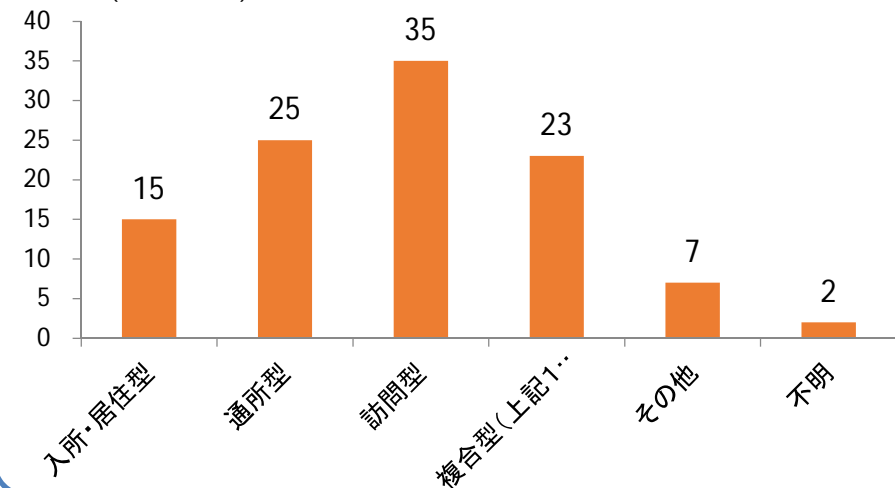
回答者の  
約56%(不明者  
除く)は女性

回答者数は60  
代が最も多く、2  
0代が最も少な  
い。

民生児童委員の属性 n=472  
(民生児童委員経験年数別)



福祉事業者の属性 n=107  
(形態別)



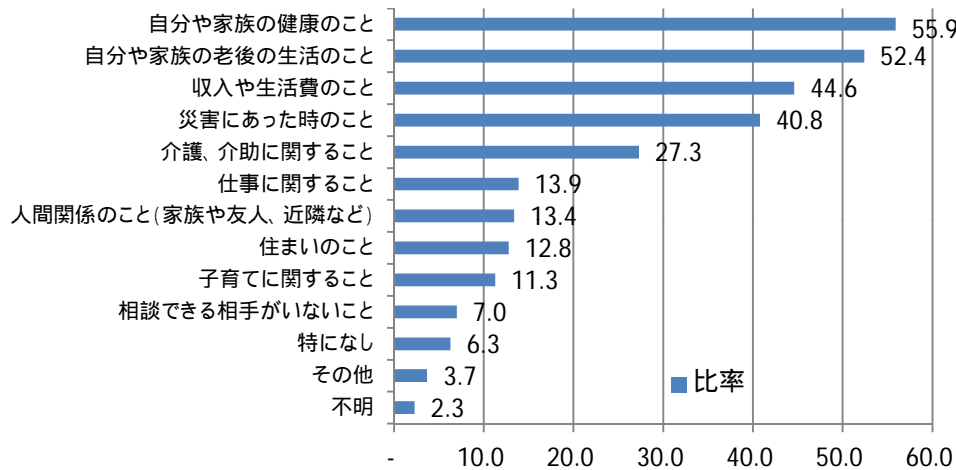
# 日常生活において感じている不安内容(市民)

問17. あなたが日常生活において感じている不安には、どのようなものがありますか。(MA)

	サンプル数	収入や生活費のこと	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後の生活のこと	人間関係のこと(家族や友人、近隣など)	子育てに関すること	介護、介助に関すること	仕事に関すること	住まいのこと	相談できる相手がいないこと	災害にあった時のこと	特になし	その他	不明
比率	100	44.6	55.9	52.4	13.4	11.3	27.3	13.9	12.8	7.0	40.8	6.3	3.7	2.3
実数	710	317	397	372	95	80	194	99	91	50	290	45	26	16

日常生活において感じている不安内容を回答率の高い順に並べると、  
 1位 自分や家族の健康のこと  
 2位 自分や家族の老後の生活のこと  
 3位 収入や生活費のこと  
 4位 災害にあった時のこと

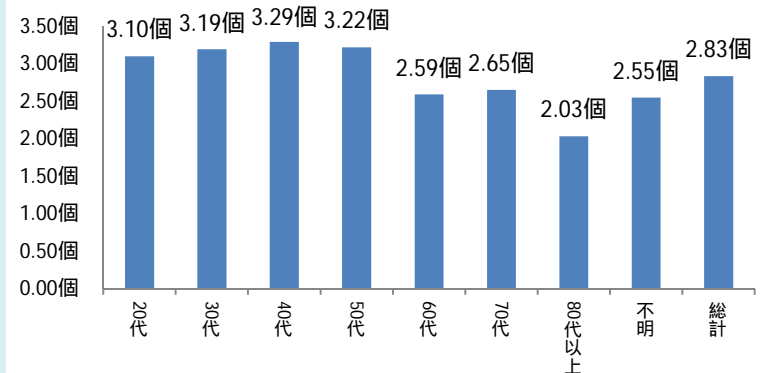
「相談できる相手がいないこと」を不安に感じている人は50人(7.0%)存在する。



一人あたり平均2.83個の不安内容を抱えており、40代が最も多く3.29個の不安を抱えており、80代以上が最も少なく2.03個となっている。

## 市民一人の抱える不安内容数について(問17を加工)

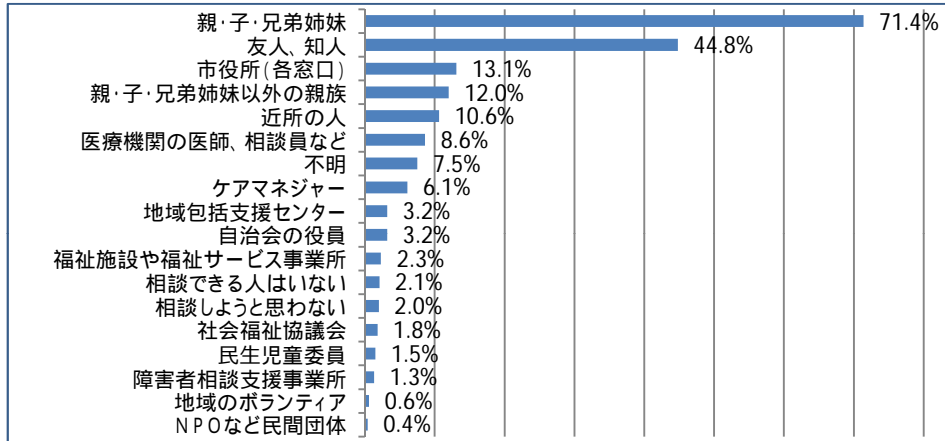
	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個	11個	不明	総計
20代	3	8	12	8	10	3	7		1				52
30代	5	13	21	10	7	10	7	4	1		1		79
40代	6	15	16	27	20	9	8		3	3			107
50代	8	8	15	26	11	9	3	5	2	1			88
60代	10	28	35	36	30	14	2	2				6	163
70代	7	21	30	34	17	5	6	2				1	123
80代以上	5	16	17	11	9	2		1				6	67
不明	1	8	5	5	3	3	2	1				3	31
総計	45	117	151	157	107	55	35	15	7	4	1	16	710



# 地域の中で孤立している市民

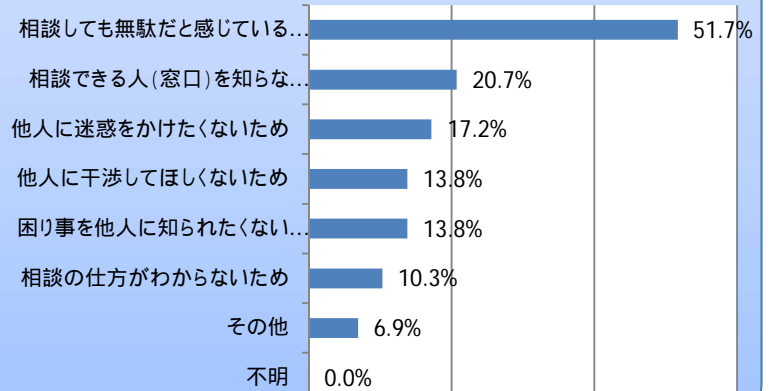
問18. あなたが、困り事があった時に相談できる人(窓口)はだれですか。(MA)【市民意識調査】

	サンプル数	親子兄弟姉妹	親以外の親族	友人、知人	近所の人	自治会の役員	民生児童委員	市役所(各窓口)	社会福祉協議会	地域包括支援センター	ケアマネジャー	障害者相談支援事業所	福祉施設や福祉サービス事業所	医療機関の医師、相談員など	NPOなど民間団体	地域のボランティア	相談できる人はいない	相談しようと思わない	不明
比率	100	71.4	12.0	44.8	10.6	3.2	1.5	13.1	1.8	3.2	6.1	1.3	2.3	8.6	0.4	0.6	2.1	2.0	7.5
実数	710	507	85	318	75	23	11	93	13	23	43	9	16	61	3	4	15	14	53



問19. 「相談できる人がいない」、または「相談しようと思わない」を選択した理由は何ですか。(MA)【問18で「16」「17」とお答えの方へ】【市民意識調査】

	サンプル数	相談できる人(窓口)を知らなかったため	相談の仕方がわからないため	困り事を他人に知られたくないため	他人に迷惑をかけたくないため	他人に干渉してほしくないため	相談しても無駄だと感じているため	その他	不明
比率	100	20.7	10.3	13.8	17.2	13.8	51.7	6.9	-
実数	29	6	3	4	5	4	15	2	0



問6. 担当区域において、支援を必要だとは思ふものの、支援を受けていない又は拒否している事例はありますか。(SA) 民生児童委員調査より

	サンプル数	ある	ない	把握していない	不明
比率	100.0	17.6	46.6	25.6	10.2
実数	472	83	220	121	48

支援を受けていない、拒否している世帯合計102世帯

問6-1. 担当区域において、支援を必要だとは思ふものの、支援を受けていない又は拒否している世帯数(J)【問6で「1.ある」とお答えの方へ】

	サンプル数	1世帯	2世帯	3世帯	4世帯	5世帯以上	不明	平均
比率	100.0	47.0	18.1	7.2	-	3.6	24.1	1.7
実数	83	39	15	6	0	3	20	

# ボランティア活動など地域の支え合い活動について

問9(市民). あなたは、ボランティア活動など地域の支え合い活動に参加していますか。 職場、学校等で取り組んでいる地域でのボランティア活動を含む(SA)

	サンプル数	はい	いいえ	不明
比率	100.0	11.7	86.9	1.4
実数	710	83	617	10

活動している市民の48.2%は、「近所や地域の人に誘われた」ことをボランティア活動のきっかけとしており、活動の中で51.8%の市民は「メンバーの固定化、新しい人が入ってこない」ことを課題として捉えている。

活動に参加していない市民の最も多い答えは、「時間的余裕がない(52%)」と答えており、次に「参加するきっかけがない(34%)」、「情報を知らない(26.7%)」と続いている。

問10(市民). あなたが、ボランティア活動など地域の支え合い活動に参加したきっかけは何ですか。(MA) 【問9で「1.はい」とお答えの方へ】

	サンプル数	近所や地域の人に誘われたため	ボランティア講座などの受講	市報や各種ホームページなどでの募集をみたため	その他	不明
比率	100.0	48.2	9.6	10.8	41.0	2.4
実数	83	40	8	9	34	2

問11(市民). あなたがボランティア活動をする中で、困っていることはありますか。(MA) 【問9で「1.はい」とお答えの方へ】

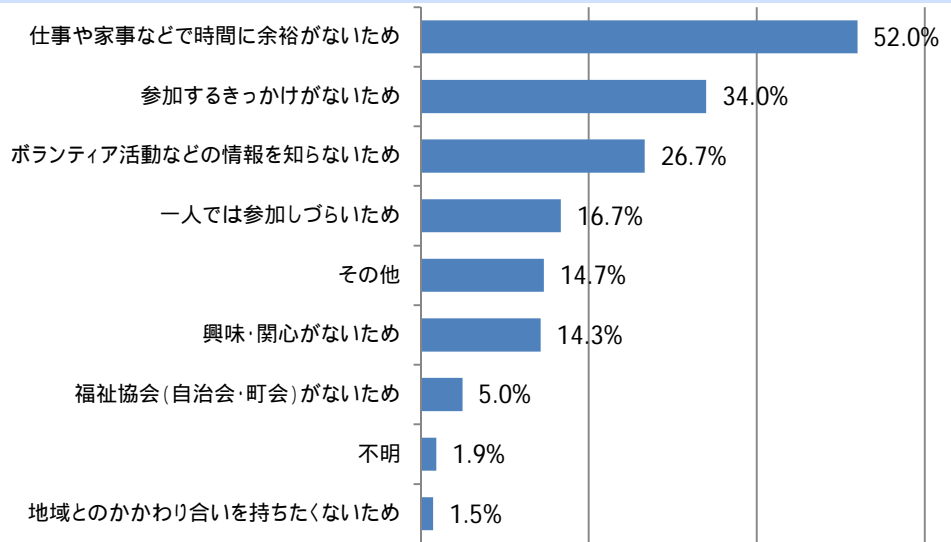
	サンプル数	活動メンバーが不足している	活動メンバーが固定化し、新しい人がはいつてこない	活動のための資金が不足している	活動のための場所がない	その他	不明
比率	100.0	26.5	51.8	8.4	6.0	25.3	14.5
実数	83	22	43	7	5	21	12

問16(市民). あなたが、高齢者や障害者等の見守り・支えあい活動に参加する場合、活動しやすいと思われる範囲をおたずねします。(SA)

	サンプル数	福祉協会(自治会・町会)の区域	社会福祉連絡協議会(連協)の区域	小学校の区域	中学校の区域	その他	不明
比率	100.0	46.2	5.8	21.7	3.4	6.5	16.5
実数	710	328	41	154	24	46	117

問12(市民). ボランティア活動など地域の支え合い活動に参加していない理由は何ですか。(MA)

	サンプル数	福祉協会(自治会・町会)がないため	仕事や家事などで時間に余裕がないため	ボランティア活動などの情報を知らないため	参加するきっかけがないため	一人では参加しづらいため	興味・関心がないため	地域とのかかわり合いを持ちたくないため	その他	不明
比率	100.0	5.0	52.0	26.7	34.0	16.7	14.3	1.5	14.7	1.9
実数	617	31	321	165	210	103	88	9	91	12



# ボランティア活動など地域の支え合い活動について

問7(民生児童委員) . 担当区域で地域福祉活動(ふれあい喫茶や老人給食、子育てサロンなどの集いの場や、高齢者等の見守り活動など)が行われていますか。(SA)

	サンプル数	行われている	行われていない	把握していない	不明
比率	100.0	67.4	23.1	5.5	4.0
実数	472	318	109	26	19

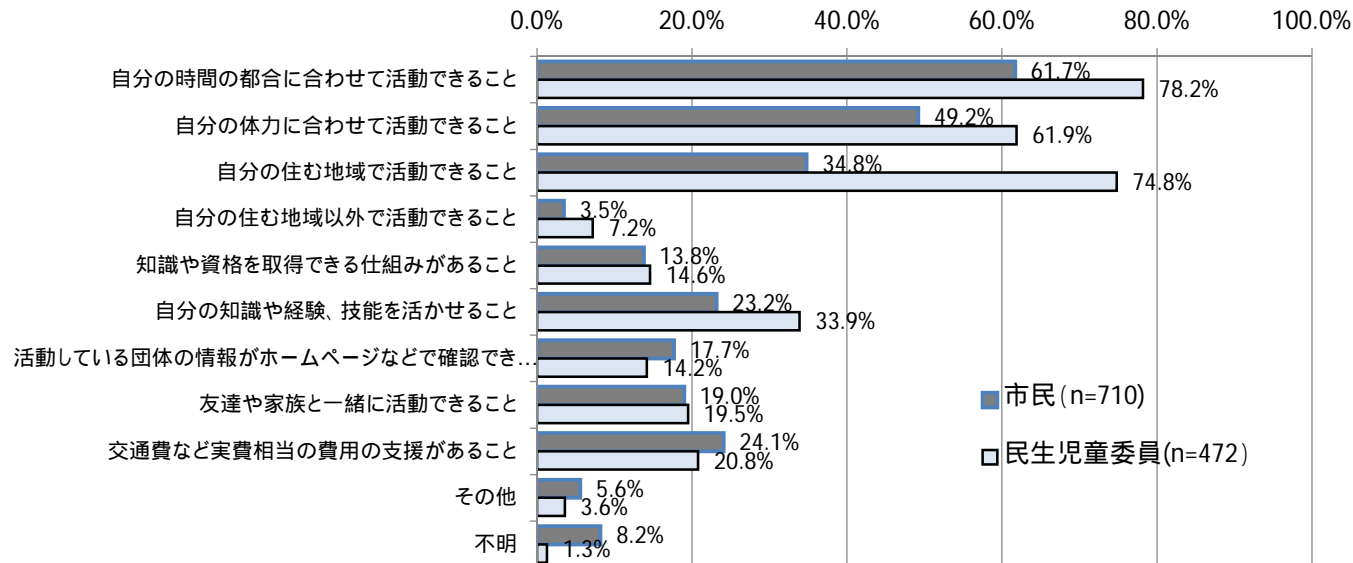
問8(民生児童委員) . 担当区域で地域福祉活動が行われていない理由は何だと思えますか。(MA) 【問7で「2.行われていない」とお答えの方へ】

	サンプル数	福祉協会(自治会・町会)がない、中心となる活動者もいないため	福祉協会(自治会・町会)はあるが中心となる活動者がいないため	NPOなどの地域の活動団体がいないため	その他	不明
比率	100.0	11.0	60.6	11.0	15.6	12.8
実数	109	12	66	12	17	14

問14(市民)・問16(民生児童委員)

様々な方が、ボランティア活動など地域の支え合い活動に積極的に参加するためには、こういった条件や仕組みが必要だと思えますか。(MA)

	自分の時間の都合に合わせて活動できること	自分の体力に合わせて活動できること	自分の住む地域で活動できること	自分の住む地域以外で活動できること	知識や資格を取得できる仕組みがあること	自分の知識や経験、技能を活かせること	活動している団体の情報がHPなどで確認できること	友達や家族と一緒に活動できること	交通費など実費相当の費用の支援があること	その他	不明
市民(n=710)	61.7%	49.2%	34.8%	3.5%	13.8%	23.2%	17.7%	19.0%	24.1%	5.6%	8.2%
民生児童委員(n=472)	78.2%	61.9%	74.8%	7.2%	14.6%	33.9%	14.2%	19.5%	20.8%	3.6%	1.3%

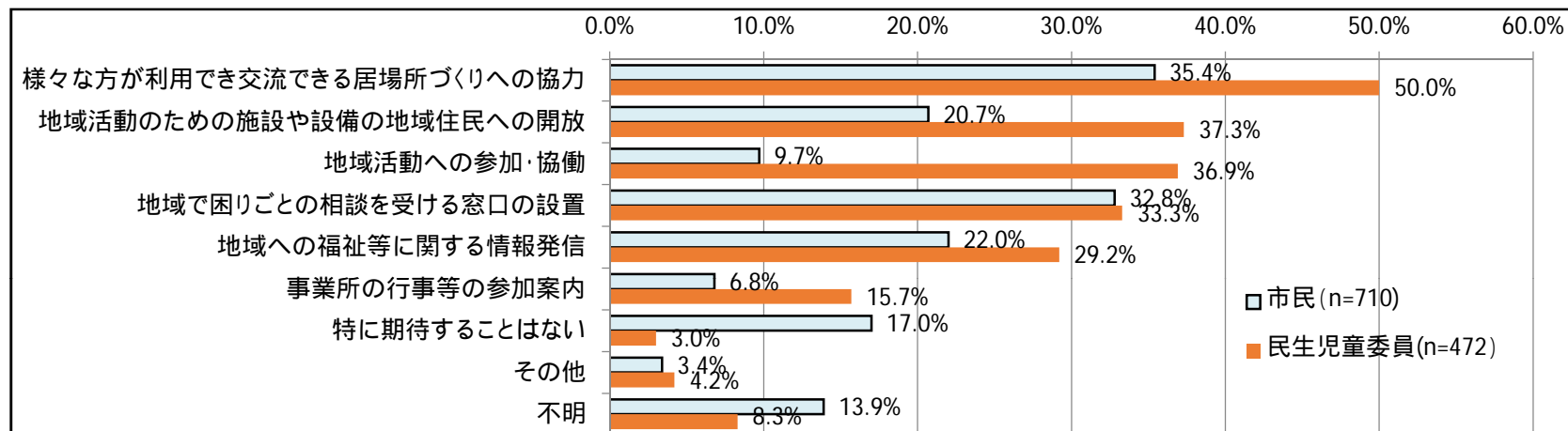


1位(市民・民生)「自分の時間の都合に合わせて活動できること」  
 2位(市民)「自分の体力に合わせて」、(民生)「自分の住む地域で」  
 3位(市民)「自分の住む地域で」、(民生)「自分の体力に合わせて」  
 となっており、市民、民生とも上位3位までは同じ内容が含まれる。

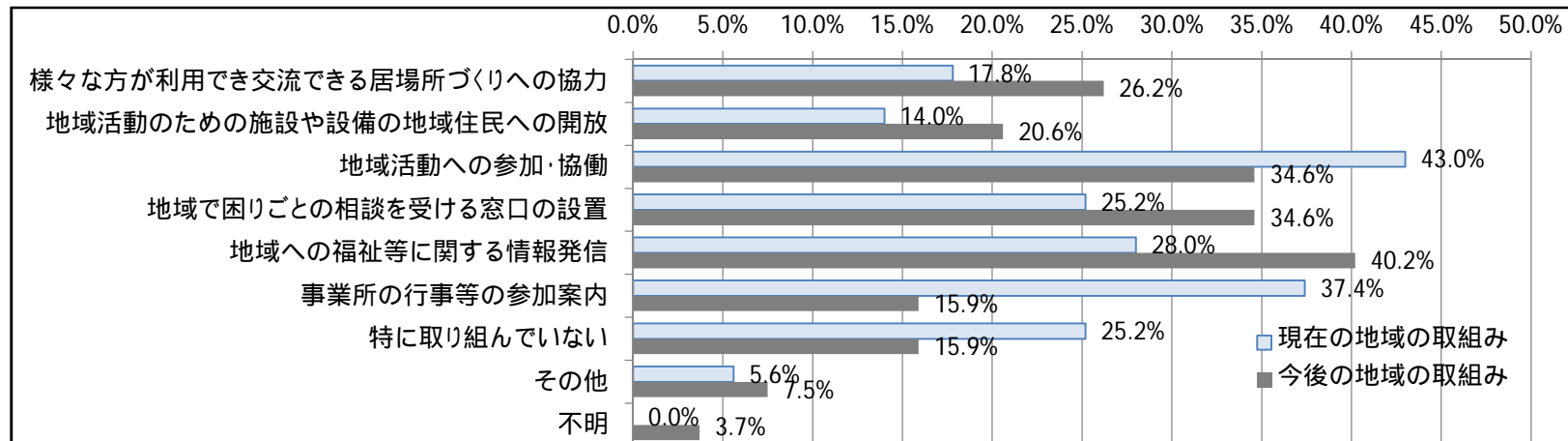
# 福祉事業所の地域への協力について

- 市民、民生児童委員ともに福祉事業者に対して「様々な方が利用でき交流できる居場所づくりへの協力」を期待する割合が最も高く、2番目に市民は「地域で困りごとの相談を受ける窓口の設置」(32.8%)、民生児童委員は「地域活動のための施設や設備の地域住民への開放」(37.3%)が高くなっている。
- 一方で、福祉事業者は「地域活動への参加・協働」(43.0%)の取組み割合が高く、「交流できる居場所」への取組み割合は低い。

市民・民生児童委員の福祉事業者に期待すること (市民 問21 n=710 民生児童委員 問24 n=472)



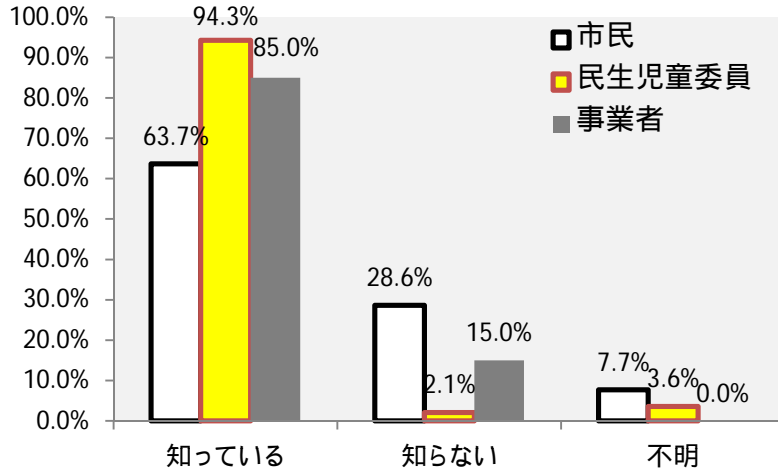
福祉事業者の地域における取組み (福祉事業者問5 問6 n=107)



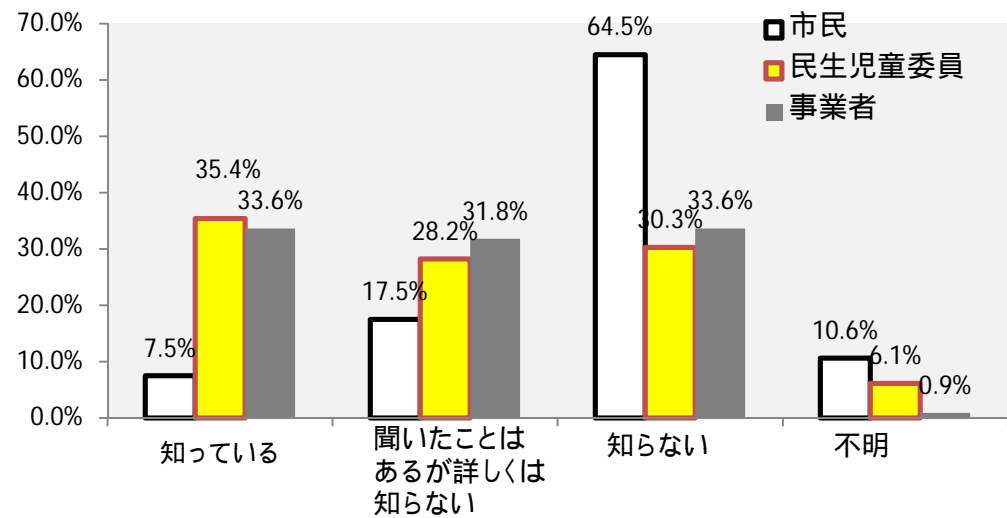


# 災害時の要援護者支援について

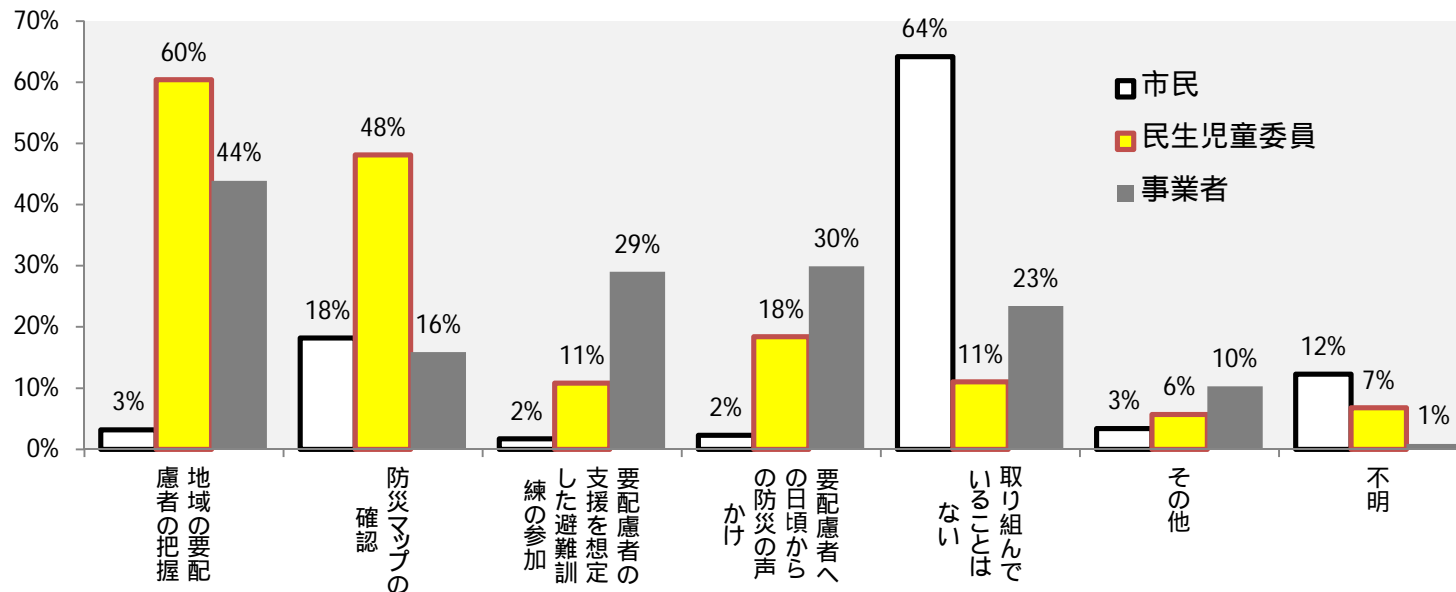
地域の避難場所(避難所含む)がどこにあるのかご存じですか。



福祉避難所(2次的避難所)をご存知ですか



地域にお住まいの要配慮者の避難支援のために、あなたが日頃から取り組んでいることはありますか。



避難所については知っている割合が高いものの、福祉避難所になると知らない割合が高くなる。

日頃から要配慮者の避難支援に市民の約64%は「取り組んでいることはない」と回答している。

一方で、民生児童委員・福祉事業者は様々な形で取り組みを進めている。